学校番号	309

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	ニューグローバルマーチ　数学Ⅰ＋Ａ＋Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

四年制大学の理系学部への進学に向けて、数学ⅠAⅡBの問題演習を中心とした授業を行います。毎時間、積極的に問題演習に取り組む姿勢が求められます。多様な手法を用いて解く良さや面白さを感じて欲しいと思います。

2　学習の到達目標

2次関数，場合の数と確率，三角関数，微分法と積分法，数列及びベクトル等について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ、A、Ⅱ、B の内容について、基本的な概念や原理、法則などを体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけようとする。	数学Ⅰ、A、Ⅱ、Bの内容について、目的に応じて表やグラフ、式等を適切に選択し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察したり表現したりする力を身に着けるとともに、問題を解決したり、結果を批判的に考察し判断することができる。	数学Ⅰ、A、Ⅱ、Bの内容について、演習を通して数学により関心を持つとともに、解決の過程を振り返って問題の考え方について考察したり、評価・改善したりしようとする力を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学Ⅰ	・整式の加法・減法・乗法、因数分解、実数 ・方程式・不等式 ・2次関数のグラフと直線 ・2次関数の最大・最小 ・2次不等式、2次関数の応用 ・三角比と計算 ・空間図形 ・代表値、四分位数、分散と標準偏差 ・散布図、相関係数 ・集合と命題	a：記述式の答案を論理的かつ丁寧に書くことができる。入試問題を通じて得た知識や技能が定着し、理解が深まっている。 b：授業で取り組んだ入試問題の類題に対しても、柔軟に対応できるような思考力と判断力を身につけている。 c:提出物を期限までに提出し、取り組んだ内容に努力の姿勢が見られる。	定期考査	定期考査	問題演習の取り組み状況 レポート
	数学A	・場合の数と順列 ・組合せ ・確率 ・独立試行の確率、条件つき確率 ・整数の性質(1) ・整数の性質(2) ・三角形と比 ・円の性質	a：記述式の答案を論理的かつ丁寧に書くことができる。入試問題を通じて得た知識や技能が定着し、理解が深まっている。 b：授業で取り組んだ入試問題の類題に対しても、柔軟に対応できるような思考力と判断力を身につけている。 c:提出物を期限までに提出し、取り組んだ内容に努力の姿勢が見られる。	定期考査	定期考査	問題演習の取り組み状況 レポート
2・3学期	数学Ⅱ	・二項定理、分数式、恒等式 ・等式・不等式の証明 ・複素数と2次方程式 ・因数定理と高次方程式 ・点と直線 ・円 ・軌跡 ・不等式と領域 ・三角関数と加法定理 ・三角関数の応用 ・指数関数・対数関数 ・導関数、接線、関数の増減と極値 ・導関数の応用 ・不定積分と定積分 ・積分の応用	a：記述式の答案を論理的かつ丁寧に書くことができる。入試問題を通じて得た知識や技能が定着し、理解が深まっている。 b：授業で取り組んだ入試問題の類題に対しても、柔軟に対応できるような思考力と判断力を身につけている。 c:提出物を期限までに提出し、取り組んだ内容に努力の姿勢が見られる。	定期考査	定期考査	問題演習の取り組み状況 レポート

	数学B	・等差数列、等比数列 ・いろいろな数列 ・漸化式 ・数学的帰納法、数列の応用 ・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値・分散 ・二項分布と正規分布 ・母集団と標本 ・標本平均とその分布 ・検定	a：記述式の答案を論理的かつ丁寧に書くことができる。入試問題を通じて得た知識や技能が定着し、理解が深まっている。 b：授業で取り組んだ入試問題の類題に対しても、柔軟に対応できるような思考力と判断力を身につけている。 c：提出物を期限までに提出し、取り組んだ内容に努力の姿勢が見られる。	定期考査	定期考査	問題演習の取り組み状況 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度